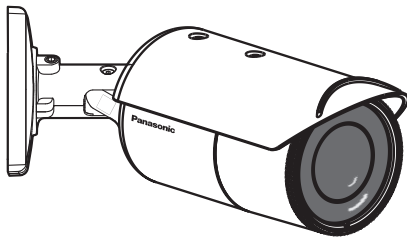


取扱説明書 基本編

工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 WV-CW185 / WV-CW125



WV-CW185

もくじ

はじめに.....	2
安全上のご注意.....	5
使用上のお願い.....	8
設置上のお願い.....	9
各部の名前.....	11
設置工事を始める前に.....	12
カメラを設置する.....	13
カメラを接続する.....	17
カメラを調整する.....	18
SETUPメニューについて.....	26
故障かな!?.....	31
仕様.....	32
保証とアフターサービス.....	35

本機の設定方法については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(5ページ～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機はテルック専用の電源に接続して使用する監視用のカラーテレビカメラです。

同軸ケーブルの種類ごとの最大ケーブル延長距離

機種	同軸ケーブル	カメラ駆動ユニット	
		WV-PS17/ WV-PS174/ WV-PS178	WV-PS108A*
WV-CW185/ WV-CW125	5 C-2 V	500 m	100 m
	3 C-2 V	200 m	40 m

※WV-CW125のみ対応

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

CW185 : WV-CW185で使用可能な機能

CW125 : WV-CW125で使用可能な機能

主な機能

●新開発DSPにより、高感度、高解像度を実現

新開発のノイズリダクションを搭載することにより、カラーモード0.08 lx (F1.3)、白黒モード0.008 lx (F1.3) **CW185**、水平解像度650 TV本 (typ.) を実現しています。

●カラー白黒切換機能

低照度時、自動的に白黒映像へ切り換えることができ、夜間でも設定を変更することなくそのまま撮影できます。

低照度時や夜間でも、IRフィルターの自動切り換えにより、きれいな映像が撮影できます。 **CW185**

●オートバックフォーカス (ABF) 機能 **CW185**

カメラを取り付ける時の操作やメニューでの設定により、自動的にバックフォーカスの調節ができます。

●IP66※1 適合の高い防じん性と防水性を確保

現場でのカメラ本体部の防水工事が不要です（ケーブルの接続部分は防水処理が必要です）。

※1 IP66：外来固形物に対して「耐じん形（6）」、水に対して「暴噴流（6）」の保護がなされていることを示します（IEC60529 / JIS C 0920）。

●動き検知機能（VMD機能）

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、弊社製レコーダーに対してアラーム信号を送出することができます。この機能により、夜間の侵入に反応して録画するといったシステムを構築することができます。

メモ

- 動き検知機能（VMD機能）は、盗難、火災などを防止するためのものではありません。万一発生した事故または損害に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

付属品をご確認ください

CD-ROM※1	1枚
取扱説明書 基本編（本書）.....	1冊
保証書	1式

※1 CD-ROMには各種取扱説明書（PDFファイル）が納められています。

以下の付属品は取付工事に使用します。

防水テープ	1個
乾燥剤	1個
スプリングワッシャー	1個
カメラ取付台カバー	2個
カメラ取付台カバー固定ねじ	3本 (M3×6 mm、1本は予備)

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）の2部構成になっています。

本書では、設置のしかたについて説明しています。

本機の設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」（PDFファイル）をお読みください。PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。PCにAdobe Readerがインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Readerをダウンロードし、インストールしてください。

製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

商標および登録商標について

Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)

⇒必ず販売店に依頼してください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)

⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 総質量に耐える場所に取り付ける

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)

⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。

■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因となります。)






- **定期的に点検する**
(金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。)
⇒点検は、販売店に依頼してください。
- **専用の取付金具を使用する**
(落下によるけがや事故の原因となります。)
⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。
- **落下防止対策を施す**
(落下によるけがの原因となります。)
⇒落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
- **防雪対策を施す**
(雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。)
⇒ひさしなどで防雪してください。
- **配線は電源を切ってから行う**
(感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。)
- **配線は正しく行う**
(ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。)
- **人がぶつからない高さに取り付ける**
(けがの原因となります。)
- **振動のないところに設置する**
(取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。)





禁止

- **異物を入れない**
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)
⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- **可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない**
(爆発によるけがの原因となります。)
- **塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない**
(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。)
- **落とさない、強い衝撃を与えない**
(けがや火災の原因となります。)
- **ぶら下がらない、足場代わりにしない**
(けがや事故の原因となります。)

警告

 禁止	■ 風が強い場所に設置しない (風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。)
 分解禁止	■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
 接触禁止	■ 雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない (工事時を含む) (感電の原因となります。)

注意

	■ お手入れのときは電源を切る (けがの原因となります。)
 禁止	■ 金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります。)

使用上のお願い

⚠ 警告 ⚠ 注意

に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機に電源スイッチはありません
電源を切るときは、主電源を切ってください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります（推奨温度+35℃以下）。設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

取り扱いはていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

CCD色フィルターの焼き付きについて

画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分に変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

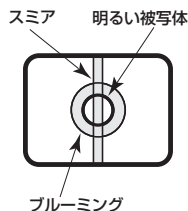
お手入れは

電源を切って行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。取扱説明書に指示されていないねじを緩めたり、外したりしないでください。

強い光に本機を向けないでください

画面の一部にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りがにじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って天井または壁面にしっかりと取り付ける必要があります。

電源について

本機に電源スイッチはありません。電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるようにしてください。

カメラの取り付け場所について

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで、設置してください。

- 強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- カメラ本体は建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードなど強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

直射日光が当たらない場所でお使いください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- プールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲（13832ページ）を超える場所
- 車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）

ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）の近くに本機を設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

雷のときに取り付けと配線をしないでください。火災あるいは感電の原因になります。

設置上のお願い（つづき）

カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください
ノイズの入る原因になります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランスなど）の近くでは、映像がゆがんだりすることがあります。

このような場合は、別途、鋼製電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

取付ねじは別途ご用意ください

本機を取り付けるねじは付属されていません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

ねじの締め付けについて

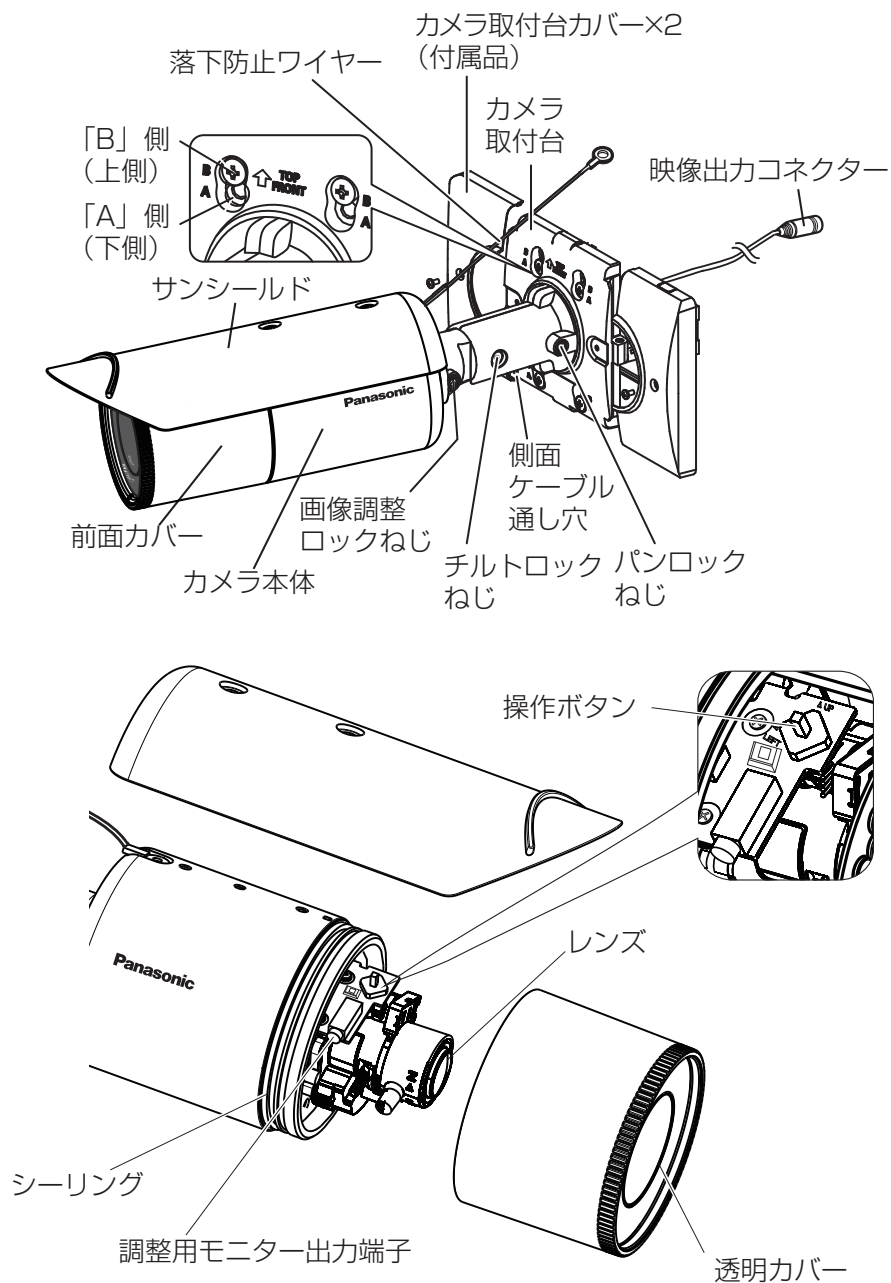
- ねじは取り付け場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因になります。
- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまり透明カバーの内側が曇ることがあります。

本機を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

各部の名前



設置工事を始める前に

カメラを天井または壁に取り付ける方法には、次の3通りがあります。

- 直接取り付ける
- スイッチボックスなどを使用する
- WV-Q120A(カメラ取付金具) (別売り) を使用する

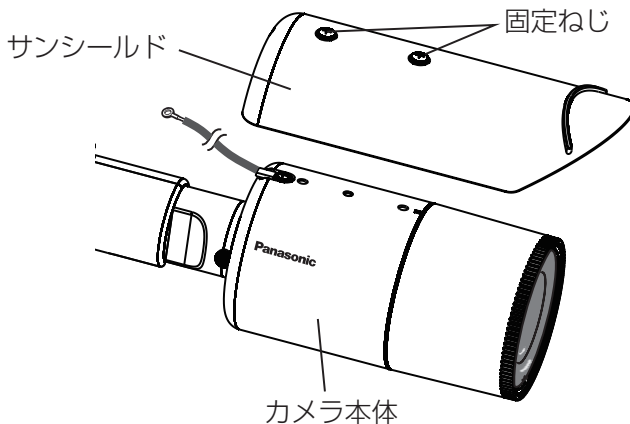
重要

- カメラ取付台を取り付ける取付ねじは取り付け場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 取り付け場所のねじ引抜強度は、1本あたり724 N {74 kgf} 以上必要です。
- 石こうボードや木部は、強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は、十分な補強を施してください。

メモ

- カメラの設置には対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) が必要です。

- 設置の前に、サンシールドの固定ねじ2本を緩めてサンシールドを外します。



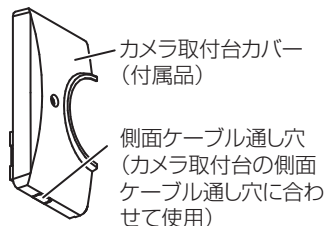
カメラを設置する

■カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合

※壁面に取り付ける場合を例に説明します。

メモ

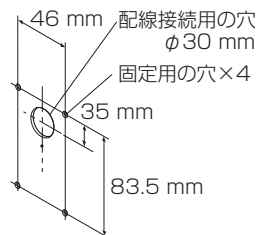
- ケーブル類を側面に配線する場合、カメラ取付台カバーの側面ケーブル通し穴をニッパー等で取り取ってケーブルを通してください。ケガ防止およびケーブル保護のため、側面ケーブル通し穴はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。



1

カメラを天井または壁面に取り付ける位置を決め、右図に示すような固定用と配線接続用の穴をあける。

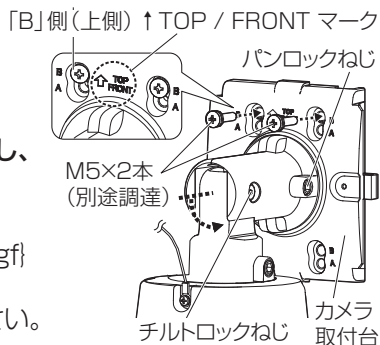
※固定用の穴径および深さは使用するねじまたはアンカー (M5ねじ×4本:別途調達) の仕様に合わせて決めてください。



2

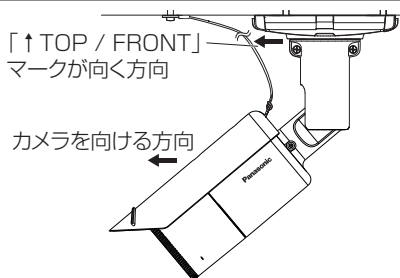
チルトロックねじを対辺5 mmの六角レンチ (別途調達) を使って1回転ほど緩め、カメラを下に向けたあとに仮締めし、上側2本のねじ (M5:別途調達) でカメラを固定します。

※M5×2本:最低引抜強度724 N{74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。



メモ

- 壁面に取り付ける場合、カメラ取付台の「↑ TOP / FRONT」マークが上向きになるように設置してください。
- 天井に取り付ける場合は、カメラを向ける方向に「↑ TOP / FRONT」マークが向くように設置してください。



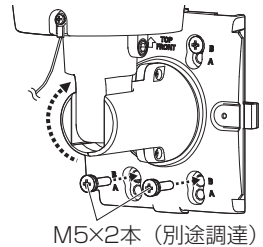
例:天井に取り付ける場合

カメラを設置する（つづき）

3

パンロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（別途調達）を使って1回転ほど緩めカメラを上に向けたあとに仮締めし、下側2本のねじ（M5：別途調達）でカメラを固定します。

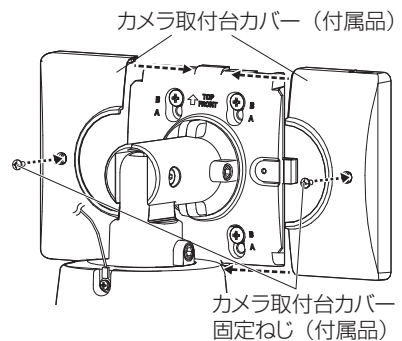
※M5×2本：最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本あたり
カメラ取付台「B」側の穴で固定してください。



4

カメラを下に向けカメラ取付台カバー（付属品）をカメラ取付台カバー固定ねじ（M3×6 mm、付属品）で取り付けます。

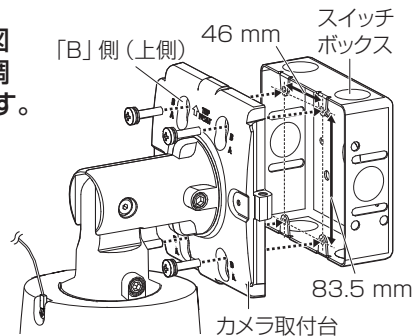
推奨締付トルク：
0.59 N・m {6 kgf・cm}



工事

■スイッチボックスなどに取り付ける場合

カメラ取付台の「B」側の穴を使って右図のように固定用のねじ（M4×4本：別途調達）でスイッチボックスなどに取り付けます。（最低引抜強度724 N {74 kgf} /1本）



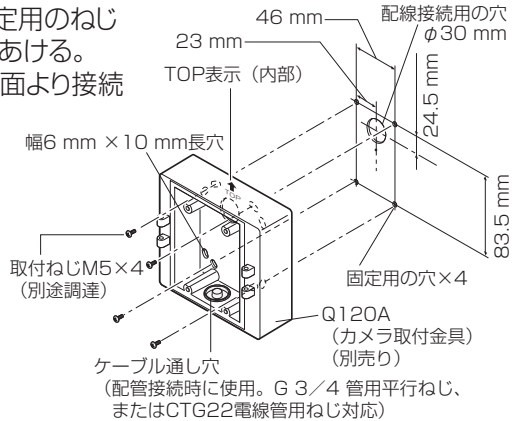
メモ

- 固定用のねじの取り付け手順は「■カメラを天井または壁面に直接取り付けする場合」の2 3 4と同じです。
- スイッチボックスなどを使用する場合、2つ並べて使用することをお勧めします。（片側にカメラを固定し、空きボックス側へ配線すればケーブルの接続が容易になります。）

■WV-Q120A(カメラ取付金具)(別売り)を使って天井または壁面に取り付ける場合 ※壁面に取り付ける場合を例に説明します。(WV-Q120Aについては以下Q120Aと省略しています。)

1 カメラ取付金具を壁面に固定します。

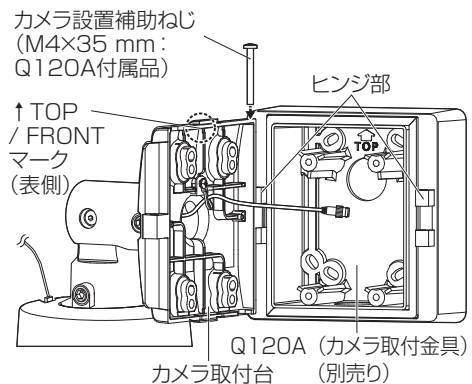
- ①右図に示すような寸法の固定用のねじ穴および配線接続用の穴をあける。
(ケーブル通し穴を使って側面より接続する場合は、固定用のねじ穴のみをあけてください)
 - ②カメラ取付金具内部の刻印「TOP」表示を上側に向けてください。
 - ③別途調達したM5ねじ4本で、カメラ取付金具を直接壁に固定します。
最低引抜強度：724 N {74 kgf} / 1本あたり
- 屋外に設置するときは、ケーブル通し穴とねじ穴を防水処理してください。



2 カメラ取付金具にカメラ取付台とカメラを仮固定します。

「■カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合」の2を参考にしてカメラを下に向けた後に、カメラ設置補助ねじ (M4×35 mm：Q120A付属品) を使って、カメラ取付金具の左右どちらかのヒンジ部にカメラ取付台を仮取り付けし、開閉できるようにします。

- カメラ取付台の「↑TOP / FRONT」マークが上向きになるように固定してください。
- 左右どちらか近くに壁がある場合は、壁の反対側のヒンジ部に取り付けてください。
- カメラ取付台はカメラ取付金具のヒンジ部へ次の締付トルクで固定してください。 推奨締付トルク：0.78 N・m {8 kgf・cm}



カメラを設置する（つづき）

3

カメラ取付台をカメラ取付金具に固定します。

- ①取付ねじ（M5×20 mm：カメラ取付台取付ねじ（Q120A付属品）4本でカメラ取付台の「A」側の穴を使い上側2本→下側2本の順にカメラ取付台をカメラ取付金具に固定します。

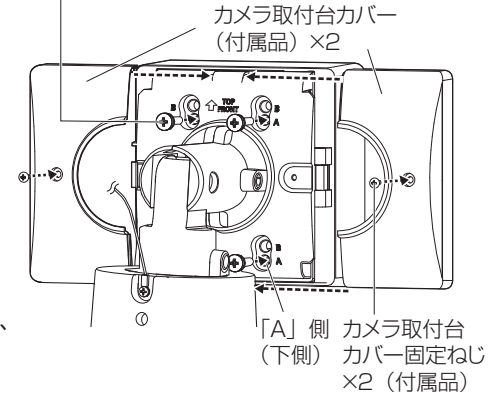
推奨締付トルク：

1.86 N・m {19 kgf・cm}

（取り付け方は「**■**カメラを天井または壁面に直接取り付ける場合」の**2** **3**参照）

- ②取付台カバーをカメラ取付台カバー固定ねじ（M3×6 mm、付属品）2本でカメラ取付台に固定します。

推奨締付トルク：0.59 N・m {6 kgf・cm}



メモ

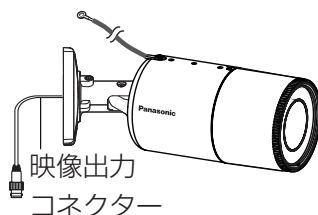
- カメラ取付台をカメラ取付金具に固定する前に、「カメラを接続する」を参照して同軸ケーブルを映像出力コネクタに接続してください。

カメラを接続する

同軸ケーブル（別途調達）を接続します。

重要

- 接続は、各機器の電源を切った状態で行ってください。
- 同軸ケーブルコネクタは、確実に固定してください。

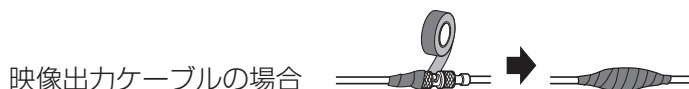


同軸ケーブルを映像出力コネクタに接続します。

ケーブル接合部の防水処理について

カメラを屋外に設置するときは、ケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。

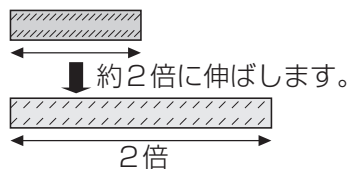
また、ケーブル接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下の手順で防水処理を行ってください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、隙間から水が入り、故障の原因になります。



メモ

付属の防水テープの巻きかた

- テープを約2倍の長さに引き伸ばし（右図参照）、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き伸ばさないと、十分な防水性が得られません。
- 屋外に設置するときはケーブルの防水処理をしてください。カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水（JIS IP66相当）です。カメラ取付台は防水対応ではありません。

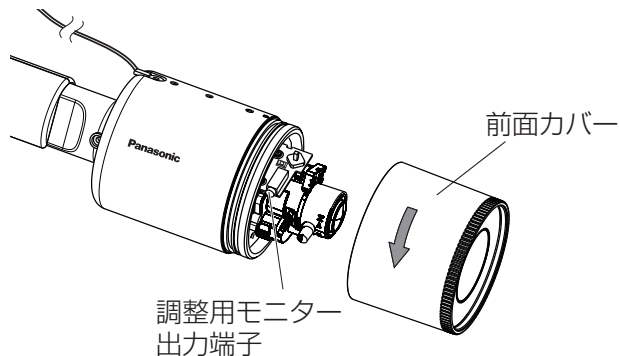


カメラを調整する

1

調整用モニター出力端子に調整用モニター（小さな液晶モニターなど）を接続し、本機に電源を供給します（画角調節後は安全のため、使用開始まで電源を切ってください）。

① 前面カバーを回して、外します。



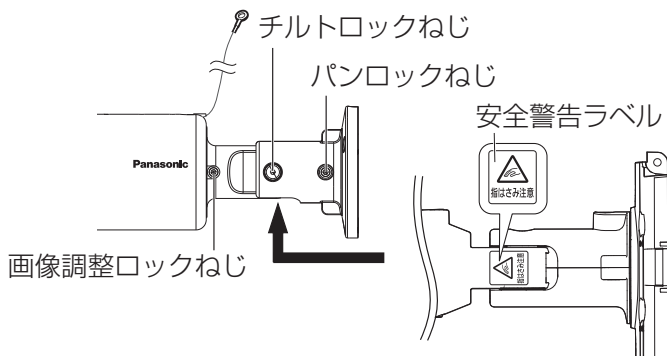
② 調整用モニター出力端子と調整用モニターをφ 3.5 mmのミニプラグ（モノラル、別途調達）で接続します。

重要

- 調整用モニター出力は、設置時やサービス時に調整用モニターで画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視目的には使用できません。

2

調整用モニターの映像を見ながらカメラアングルを調整します。



重要

- カメラアングルを調整する場合、指を挟まないように、安全警告ラベルが貼り付けられている可動部を触らないようにしてください。

以下の(1)～(3)を繰り返して、カメラアングルを調整します。

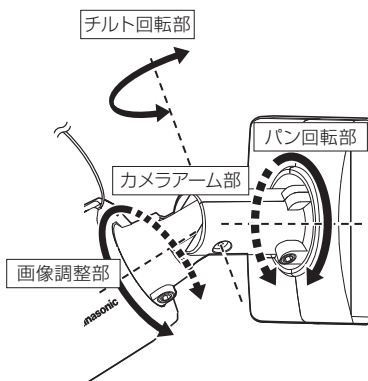
- (1) パンロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（別途調達）を使って緩めて水平方向にカメラ本体を回転させ、パンの調整を行います。
(パン回転部の回転範囲：±180°)

※パン回転部は±180°以上回さないでください。内部ケーブルがよじれるおそれがあります。

- (2) チルトロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（別途調達）を使って緩めて垂直方向にカメラ本体を回転させ、チルトの調整を行います。
(チルト回転部の回転範囲：0°～90°)

- (3) 画像調整ロックねじを対辺5 mmの六角レンチ（別途調達）を使って緩めてカメラ本体を回転させ、画の傾きを調整します。

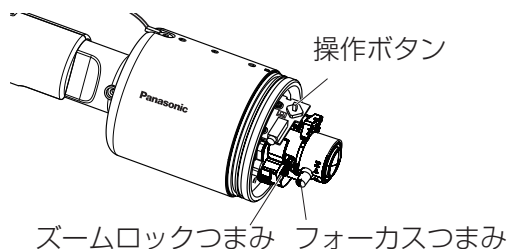
(画像調整部の回転範囲：-190°～+100°)



3 画角とフォーカスを調整します。

<WV-CW185の場合>

被写体との距離に応じて、画角とフォーカスを合わせることができます。画角とフォーカス調整は、カメラアングルの調整と一緒に行ってください。



- ①ズームロックつまみを緩め、被写体に応じて画角（視野角）を調整します。
- ②ズームロックつまみを締め付けます。
- ③フォーカスつまみでフォーカスを粗調整します。
- ④操作ボタンの中央を押して、ABF機能でオートバックフォーカスを行います。

メモ

- ズームロックつまみをW方向（T方向）いっぱいに合わせて、フォーカスがうまく調整できない場合があります。その際は、ズームロックつまみをT方向（W方向）側へ少し戻して、フォーカスを再調整してください。
- 操作ボタンの中央を2秒以上押し続けると、設定メニューが表示されます。
- ABF機能はフォーカス全範囲に使用することはできません。画角とフォーカスを手動で粗調整した後、操作ボタンの中央を押してオートバックフォーカス（ABF）機能を働かせます。

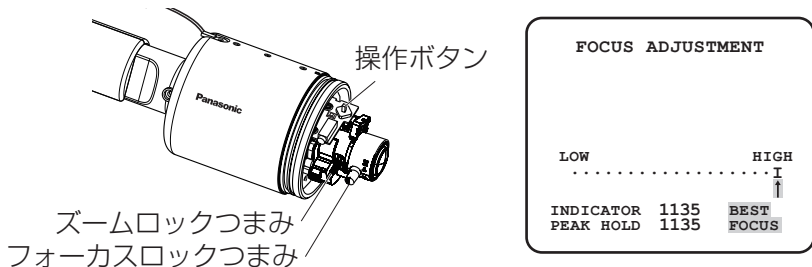
カメラを調整する（つづき）

メモ

- 以下のような場所あるいは被写体の場合は、画像を見ながら手動で最適なフォーカス位置に合わせてください。
 - 動きが大きい
 - 照度変化が大きい
 - 低照度
 - 極端に明るい
 - 光の反射がある
 - 窓越し
 - レンズが汚れやすい場所
 - 白壁など明暗が少ない
 - 深い奥行きを持つ
 - ちらつきが激しい
 - シャッターのような平行した横方向線のみ

<WV-CW125の場合>

被写体の距離に応じて、画角とフォーカスを合わせることができます。画角とフォーカス調整は、カメラアングルの調整と一緒に行ってください。



- ①ズームロックつまみを緩め、被写体に応じて画角（視野角）を調整します。

メモ

- ズームロックつまみをW方向（T方向）いっぱいに合わせて、フォーカスがうまく調整できない場合があります。その際は、ズームロックつまみをT方向（W方向）側へ少し戻して、フォーカスを再調整してください。

- ②ズームロックつまみを締め付けます。
- ③操作ボタンの中央を押します。
→「FOCUS ADJUSTMENT」画面が表示されます。
フォーカスアシスト機能により、最適な調整ができるようになります。
- ④フォーカスロックつまみを緩め、ピントが合う位置の前後まで動かすと、自動的に最適のフォーカス位置が「PEAK HOLD」位置として記録されます。
- ⑤フォーカスロックつまみを動かすと、現在のフォーカス状態が「INDICATOR」に数値で表示されますので「PEAK HOLD」の値に近くなるように調整します。
- ⑥フォーカスが合う位置に調整すると「BEST FOCUS」と反転文字が右下に表示されます。
- ⑦操作ボタンの中央を再度押すと、「FOCUS ADJUSTMENT」画面が終了します（または約3分経過すると自動的に終了します）。
- ⑧フォーカスロックつまみを締め付けます。

メモ

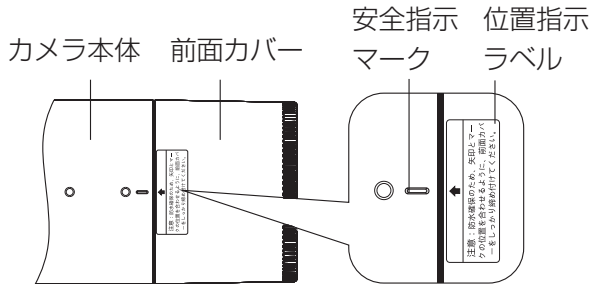
- 調整の途中で画角が変わってしまった場合は、操作ボタンの中央を押していったん「FOCUS ADJUSTMENT」画面を終了させてください（画角が変化すると「PEAK HOLD」、「INDICATOR」の数値が変化してしまうため）。画角を固定したのち、手順③からやり直してください。
- 以下のような被写体の場合は、フォーカスアシスト機能を使用せず、画像を見ながら手動で最適なフォーカス位置に合わせてください。
 - 動きが多い
 - 照度変化が大きい
 - 低照度
 - 極端に明るい
 - 光の反射がある
 - 窓越し
 - レンズが汚れやすい場所
 - 白壁など明暗が少ない
 - 深い奥行きを持つ
 - ちらつきが激しい
 - シャッターのような平行した横方向線のみ

カメラを調整する（つづき）

4 調整用モニター出力端子から調整用モニターを外します。

5 前面カバーの内側に乾燥剤を貼り付けてから、前面カバーを取り付けます。

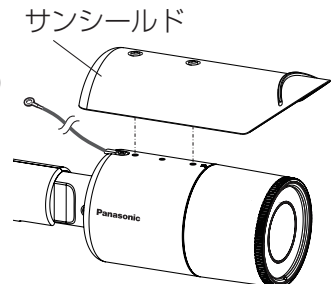
※乾燥剤の貼り付けの詳細は付属のチラシを参照ください。



重要

- 前面カバーを取り付けるとき、前面カバーの位置指示ラベルの矢印とカメラ本体の安全指示マークを合わせてください。防水を確保するために必要な作業となります。
- シーリング（[P.11](#)ページ）の脱落や歪みがないことを確認します。脱落や歪みがある場合は正常な位置に戻してください。
- シーリングにほこりやゴミがないことを確認します。ほこりやゴミがある場合は取り除いてください。
- 前面カバーの取り付け後、透明カバー（[P.11](#)ページ）の外側に貼り付けてある保護シートを剥がしてください。保護シートを剥がした後、透明カバーには触れないでください。

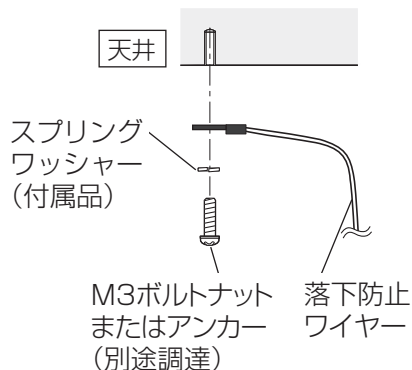
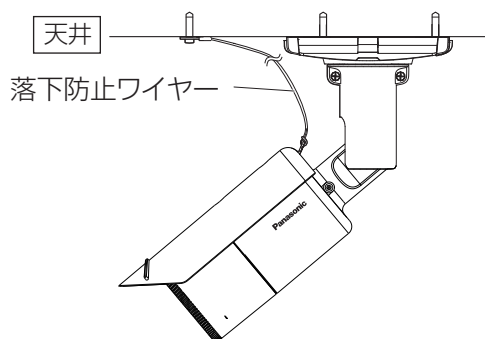
6 サンシールドを取り付けます。
(推奨締付トルク：1.0 N・m {10 kgf・cm})



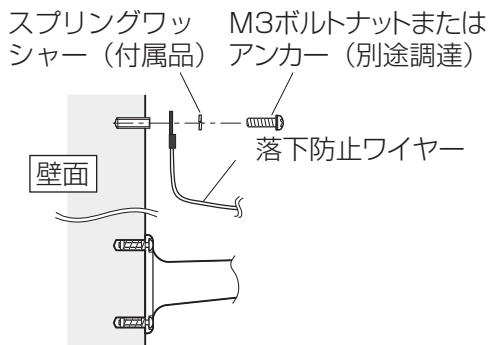
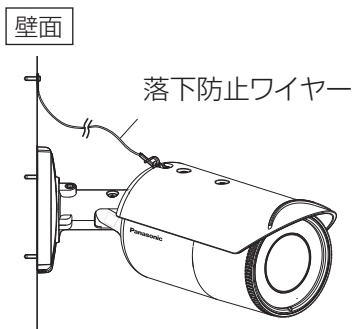
7

落下防止ワイヤーを天井または壁面に固定します。

■天井に取り付けた場合



■壁面に取り付けた場合



重要

- 落下防止ワイヤー固定用のM3ボルトナットまたはアンカー（別途調達）の最低引抜強度は196 N {20 kgf} を確保してください。
- 落下防止ワイヤーは建築物の基礎部分または十分に強度がある部分に固定してください。
- カメラの取付高さ（取り付け後カメラの一番低い部分）が床面から2 m 80 cmより高い位置になるように取り付けてください。
- 万一本機が外れた場合でも、周囲の人に当たらないように落下防止ワイヤーを確実に固定してください。

SETUPメニューについて

本機を使用する場合、あらかじめSETUPメニューで各項目を設定しておく必要があります。撮影場所の条件に合わせて、各項目を設定します。

SETUPメニュー一覧

設定項目	概要
CAMERA ID	カメラタイトルを設定します。カメラの設置場所などを表すタイトルを英数字・記号・カタカナで作成し、画面上に表示します。
CAMERA	カメラ動作に関する設定を行います。
SCENE1 / SCENE2	シーンファイルを選択します。夜間や休日の設定を別にしたい場合など、シーンごとに設定内容を登録しておくことができます。
ALC/ELC	カメラに入る光量の制御方式を設定します。
SHUTTER	電子シャッターの速度を設定します。
AGC	ゲインの調整方法を設定します。
SENS UP	電子感度アップを設定します。
WHITE BAL	ホワイトバランスの調整方法を設定します。
DNR	デジタルノイズリダクション機能を設定します。
BW MODE	カラー映像と白黒映像の切り換え方法を設定します。
VMD	動き検知に関する設定を行います。

設定項目	概要
SYSTEM	プライバシーゾーンや歪補正などカメラのシステムに関する設定を行います。
SYNC	同期方式を表示します。
PRIVACY ZONE	撮影場所の中の映したくない部分だけを表示しないよう設定します。
STABILIZER	カメラの画揺れ補正を行うかどうかを設定します。
EL-ZOOM	電子ズームを設定します。
UPSIDE-DOWN	映像を上下（左右）反転表示にします。
LDC	レンズによる歪を補正します。
BACK-FOCUS CW185	バックフォーカスの調整方法の設定と微調整を行います。
SPECIAL	カメラの画質に関する設定など、特別メニューの設定を行います。
CHROMA GAIN	クロマレベル（色の濃さ）を調整します。
AP GAIN	アパーチャーレベルを調整します。
PEDESTAL	ペDESTALレベル（明るさ）を調整します。
HUE	クロマ位相（色合い）を調整します。
DISPLAY CW185	状態表示の設定を行います。
PIX OFF	カメラ映像内の傷を補正します。
CAMERA RESET	SETUPメニューの設定内容を初期設定に戻します。
SER.NO.	本機のシリアルナンバーを確認します。
LANGUAGE	SETUPメニューの言語を設定します。

基本的な操作のしかた

SETUPメニューの基本的な操作のしかたを説明します。

SETUPメニューの操作は、接続しているモニターにSETUPメニューを表示して、操作ボタンで行います。

システムコントローラー（別売り）から行うこともできます。

画面1

操作ボタンの中央を2秒以上押し続け、SETUPメニューのトップ画面を表示します。

```
MODEL WV-CW185
CAMERA ID OFF
CAMERA 1
SYSTEM 1
BACK-FOCUS 1
SPECIAL 1
LANGUAGE 1

END SETUP DISABLE
```

※「BACK-FOCUS」は WV-CW185のみ表示されます。

STEP1

操作ボタンを上方向または下方向に押し、カーソルを「END」に合わせます。

STEP2

右方向に押し「SETUP」にカーソルを合わせ、操作ボタンの中央を押し、設定モードを「DISABLE」→「ENABLE」に切り換えます。

画面2

設定モードが「ENABLE」に切り換わり、設定できる状態になります。

```
MODEL WV-CW185
CAMERA ID OFF
CAMERA 1
SYSTEM 1
BACK-FOCUS 1
SPECIAL 1
LANGUAGE 1

END SETUP ENABLE
```

STEP3

設定したいSETUPメニューにカーソルを合わせ、操作ボタンの中央を押しします。

画面3

選択したSETUPメニューの設定画面が表示されます。

```

**CAMERA SETUP**
SCENE1
ALC/ELC      ALC↓
SHUTTER      OFF
AGC          ON (HIGH)
SENS UP      OFF
WHITE BAL    ATW1↓
DNR          HIGH
BW MODE      AUTO1↓
VMD          OFF

RET TOP END
```

メモ

- 本機では誤操作を防止するため、操作ボタンでSETUPメニューのトップ画面を表示すると、必ず設定モードが「DISABLE」になっています。操作するときは「ENABLE」に切り換えてください。
- カーソルとは設定項目が反転表示している部分をいいます。

STEP4

各設定項目を設定します。

- 設定項目の選択：
操作ボタンを上方向または下方向に押し、カーソルを移動します。
- 設定内容の切り換え：
操作ボタンを左方向または右方向に押します。
- 設定項目の詳細設定画面を表示：
「↓」が表示されている設定項目で操作ボタンの中央を押します。
- 前の設定画面に戻る：
「RET」にカーソルを合わせ、操作ボタンの中央を押します。
- トップ画面に戻る：
「TOP」にカーソルを合わせ、操作ボタンの中央を押します。

STEP5

カメラ映像の画面に戻るときは、「END」にカーソルを合わせ、操作ボタンの中央を押します。

画面遷移図

トップ画面

```
MODEL WV-CW185
CAMERA ID OFF 1
CAMERA 1
SYSTEM 1
BACK-FOCUS 1
SPECIAL 1
LANGUAGE 1

END SETUP DISABLE
```

※ 「BACK-FOCUS」は WV-CW185のみ表示されます。

「CAMERA ID」画面

```
**CAMERA ID**
0123456789
ABCDEFGHIJKLM
NOPQRSTUVWXYZ
() , " ; & # ! ? =
+ - % / $ %
SPACE POSI KANA
RET TOP END RESET
↓
```

「CAMERA SETUP」画面

```
**CAMERA SETUP**
SCENE1 VD2
ALC/ELC ALC 1
SHUTTER OFF
AGC ON(HIGH)
SENS UP OFF
WHITE BAL ATW1 1
DNR HIGH
BW MODE AUTO1 1
VMD OFF
RET TOP END
```

「SYSTEM SETUP」画面

```
**SYSTEM SETUP**
SYNC VD2
PRIVACY ZONE OFF
STABILIZER OFF
EL-ZOOM OFF
UPSIDE-DOWN OFF
LDC I..... 0
- +
```

「BACK-FOCUS SETUP」画面 **CW185**

```
**BACK-FOCUS SETUP**
ABF --PUSH SET
MANUAL-ADJ 1 FIX
C/L --B/W
RET TOP END
```

「SPECIAL SETUP」画面

```
**SPECIAL SETUP**
CHROMA GAIN ...I..160
AP GAIN ..I... 32
PEDESTAL .I.... 16
HUE ...I... 0
- +
DISPLAY ALARM
PIX OFF 1
CAMERA RESET --PUSH SET
SER.NO. XXXXXXXX
RET TOP END
```

「LANGUAGE SETUP」画面

```
**LANGUAGE SETUP**
LANGUAGE JAPANESE

SET
RET TOP END
```

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">●同軸ケーブルが正しく接続されていますか？ →接続されているか確認してください。	17
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none">●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ →カメラのレンズを確認してください。	—
	<ul style="list-style-type: none">●フォーカスは正しく調整されていますか？ →フォーカス調整を確認してください。	21~23

仕様

●基本

電源	カメラ駆動ユニットによりDC電源供給*1
消費電力	310 mA (カメラ駆動ユニットより供給)
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C
使用湿度範囲	10 % ~ 90 % (結露しないこと)
映像出力	VBS : 1.0 V [p-p] / 75 Ω、BNCプラグ
モニター出力 (画角調整用)	VBS : 1.1 V [p-p] / 75 Ω、コンポジット信号 φ 3.5 mm ミニジャック(モノラル)
防水性*2	IP66 (IEC60529 / JIS C 0920)
最大ケーブル延長 距離	500 m : 5 C - 2 V使用時 (200 m : 3 C - 2 V使用時) (WV-PS17使用時)
寸法	直径 79 mm 高さ 296 mm
質量	約1.2 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト / 樹脂 シルバーメタリック塗装 透明カバー : ポリカーボネート樹脂

※1 本機は、カラービデオ受像機WV-CM110、WV-CM111、WV-CM142、WV-CM143、WV-CM145、WV-CM146、WV-CM148とは接続できません。本機は、カメラ駆動ユニットWV-PS15、WV-PS108、WV-PS108Aとは接続できません。**CW185**

※2 取扱説明書に従い設置工事が正しく行われ、かつ適切な防水処理が行われた場合のみ。

●カメラ部

撮像素子	1 / 3型 インターライン転送方式CCD
有効画素数	976 (H) × 494 (V)
走査面積	4.8 mm (H) × 3.6 mm (V)
走査方式	2 : 1 インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz 垂直 : 59.94 Hz
同期方式	多重VD同期 (VD2)
解像度	水平 : 650 TV本 (typ.) 垂直 : 350 TV本以上 (中心部)

最低照度	カラーモード
	0.08 lx (電子感度アップOFF、AGC HIGH、F1.3)
	0.0025 lx (電子感度アップ32倍、AGC HIGH、F1.3) *
	CW185
	白黒モード
	0.008 lx (電子感度アップOFF、AGC HIGH、F1.3)
0.00025 lx (電子感度アップ32倍、AGC HIGH、F1.3) *	
CW125	
白黒モード	
0.05 lx (電子感度アップOFF、AGC HIGH、F1.3)	
0.0016 lx (電子感度アップ32倍、AGC HIGH、F1.3) *	
※換算値	
S/N	52 dB (AGC OFF時)

●機能

カメラタイトル	最大16文字表示 (アルファベット、カタカナ、数字、記号)
光量制御	ALC/ALC+/ELC
スーパー ダイナミック	OFF/ON CW185
逆光補正	OFF / ON CW125
暗部補正	OFF / ON CW125
HLC	ON (1) / ON (2) / OFF
霧補正	OFF/ON
電子シャッター	OFF(1/60)、1/100、1/250、1/500、1/1000、 1/2000、1/4000、1/10000、1/120000 (s)
AGC	ON (HIGH、MID、LOW) / OFF
電子感度アップ	OFF/AUTO(×2、×4、×6、×10、×16、×32)/FIX(×2、 ×4、×6、×10、×16、×32、×64、×128、×256、×512)
ホワイトバランス	ATW1/ATW2/AWC (エリア設定可能)
デジタルノイズ リダクション	HIGH/LOW
カラー白黒切換	CW185 OFF / ON / AUTO1 / AUTO2 CW125 OFF / AUTO
モーション ディテクター	OFF/MOTION DET/SCENE CHANGE

仕様 (つづき)

シーンファイル数	2
プライバシーゾーン	ON (1) / ON (2) / OFF
画揺れ補正	ON / OFF
電子ズーム	ON (最大2倍) / OFF
映像反転表示	ON / OFF
歪補正	あり (256段階レベル設定可能)
バックフォーカス	ABF / MANUAL / カラー白黒切換連動
CW185	
言語設定	日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / イタリア語 / スペイン語 / ロシア語 / 中国語

● レンズ部

焦点距離 (f)	2.8 mm ~ 10 mm (3.6倍バリアフォーカルレンズ)
最大口径比 (F)	1 : 1.3 (WIDE) ~ 1 : 3.1 (TELE)
フォーカス範囲	∞ ~ 0.3 m (前玉頂点より)
画角	CW185 水平 : 28° (TELE) ~ 103° (WIDE) 垂直 : 21° (TELE) ~ 75° (WIDE)
	CW125 水平 : 28° (TELE) ~ 102° (WIDE) 垂直 : 21° (TELE) ~ 75° (WIDE)

● 別売り

カメラ取付金具 : WV-Q120A

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(P.31ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右下の内容をご連絡ください。

●製品名 カラーテレビカメラ

●品番 WV-CW185 / WV-CW125

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

保証とアフターサービス（つづき）

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音*が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

その他

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 (土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号